

云、

〔江家次第十五〕大嘗會

卯日略○中 經廻立殿北并西幔外、入自西方新儀式、入自南門云云、御廻立殿、

不奏、鈴持候、大刀契同候、

〔新儀式四〕行幸神泉苑覽競馬事

乘輿出自吉方宮門、入於永寧坊、御馬場殿無鈴奏、但大刀契至南階、掃司傳取置、內侍候所、

〔江家次第十二〕齋王群行

行幸無鈴奏、不警蹕、依騎馬行幸、可候、大刀契等、

〔忠管抄五〕平治元年略○中 十二月廿五日乙亥、丑の時六波羅○平清へ行幸○二をなしてけり○中

内侍には伊豫内侍、少輔内侍二人ぞこゝろえたりける、これ等まづ去るしの御筥と寶劔をば御車に入れてけり○中、尹明はまづかに長櫃を設て、立象鈴鹿、御笛の箱、大刀契の唐櫃、晝の御座の御

大刀、殿上の御椅子など沙汰し入れて、追さまに六波羅へ参れりければ、武士ども押へて弓長刀さしちがへさしちがへして固めたるに、誰かまゐらせ給ふぞと云ければ、高く進士藏人尹明が、御物もたせて参て候なりと申させ給へと申たりければ、やがて申てとく入れよとて参りにけり、

〔玉海〕文治二年四月七日甲寅、此日依御方違幸左大臣○藤原經宗、大炊御門富小路亭○中、次泰通卿閑

輦、退降先是昇下、大刀契、

〔猪隈關白記〕正治三年○建仁元年、正月廿三日甲戌、此日天皇○土御門行幸於院○後鳥羽、二條高倉亭○中、寄御

輿鳳、次主殿官人撤御座、此間左右近衛將監各一人、昇自西階、昇下大刀契辛櫃、

〔玉葉〕建曆二年○月、御禊行幸○中、左近將監一人西渡、與右近將監相共、大刀契辛櫃一合昇下之件